

# 終わりになき現場改善

品質第一の現場作り

大日工業株式会社



代表取締役社長  
川瀬昌之氏

大日工業株式会社

代表取締役社長 川瀬昌之氏

静岡市清水区辻1-9-30

TEL 054-367-0573

創業昭和41年(法人設立昭和45年)

■事業内容

プリント基板への部品実装および組み立て、マイコン制御基板の設計から試作、量産化、OEM製品組立加工他。

電子基板づくりで培った製作現場の声を発注もとのメーカー様にフィードバックする柔軟な開発体系づくりに早くから取り組み、特殊オーダーニーズの高い日本国内で独自の領域を切り拓いてまいりました。



## 設備が故障すると生産がストップ

これまでは、設備が主体であるので、設備が故障すると、生産が復旧するまで一時ストップしていました。故障時は、メーカーや修理業者に頼るため、生産が長く止まってしまったり、費用が発生したりしたので、生産活動に支障をきたしていました。

## TPM活動で設備の故障を未然に防ぐ

そこで、ムダの排除を行い、生産効率を高めていく狙いから、設備の故障を未然に防ぐことと、設備の故障時に自分たちの力で修理できるように技術力を身につける活動を行いました。

- ① 初期清掃
- ② 発生源・困難箇所対策
- ③ 清掃給油点検・基準書の作成
- ④ 総点検
- ⑤ 自主点検

### TPM活動(Total Productive

Maintenance 「全員参加の生産保

全」をすすげるうえで、自主保全の内容は様々なので、定期的に活動を行えるよう予定表を作成し、2週間に1〜2設備の割合で実施しています。

その結果、大小様々な設備を多くの作業者が触れることで、設備に対しての知識も高まりましたし、愛着も湧いてきて、故障する頻度も減少しました。

実際に、設備故障時にメーカー修理

業者に依頼する頻度が前年比で5分の1になりました。また、新規設備の導入をしなくても、生産効率が10%アップするこ

とができます。



初期清掃中



自主点検中

## 品質第一の現場作り

TPM活動に取り組んだことで、故障率の低減や生産効率の向上が図られました。また、まだまだ課題もあります。たとえば、設備ごとに使用頻度や設備の状態がそれぞれ違いますし、品質向上への結び付けがあまり出来ていません。

そこで、実装エラー率の推移を表し

たグラフをもとに、目標値を下げる「品質状態の見える化」を行っています。具体的には、設備ごとの実装エラー数・エラー率と基準値を比較し、超過したものは赤字で表示します。これにより、設備の状態が一目で分かるようになったため、どの設備を優先的にTPM活動するべきかという基準をはっきりさせることができました。

改善には終わりはありません。これで満足することなく、さらなる改善を進めて、より良い職場づくりを目指していきます。

## ロス・ゼロを目指して

支援アドバイザー  
NPO法人マンパワーカフェ

杉本勝治氏



今回の支援では、生産システムの効率化・コストダウン等の改善活動をはじめ、設備の生産性向上のための清掃・自主管理活動、設備の計画管理(予防保全・改良保全・定期保存等)、不良の出ない設備の条件設定と条件維持、災害ゼロ・公害ゼロの体制づくりなど、企業の皆さんと一緒になって取り組んできました。

生産部門だけの活動ではなく、開発・営業・管理などあらゆる部門にわたって、トップから第一線従業員に至るまでの全員参加の重複小集団活動により、ロス・ゼロを目指していただきたいと思います。